



9月13日(日)、第2回和寒東山スキー場ヒルクライムレース「HIGASHIYAMA500」が開催されました。

同実行委員会とスポーツ協会で主催したこの大会は、東山スキー場のリフト乗り場から第1リフトの頂上までの約500m、標高差約120mの急坂を駆け上がるレースで、日本スカイランニング協会の公認を受けて開催されました。

大会では感染防止対策ガイドラインを作成し、会場入口での検温や10人ずつ30秒おきの時間差スタート、レース中以外のマスク着用、ソーシャルディスタンスを確保した走り方など感染症対策を徹底して実施され、北海道スタイルに沿ったスポーツイベントとなりました。

参加した方からは、「いろいろな行事が中止となり寂しく感じていたが、感染防止対策を行いながら楽しいスポーツイベントが開催されて良かった」との感想がありました。

なお、本大会は比布町との共同開催となっており、10月18日にはぴっぴ町ヒルクライムレースがぴっぴスキー場で開催される予定です。

大会の様子や結果は、公式Facebookページでご覧いただけます。

和寒東山スキー場ヒルクライムレース
公式FacebookページQRコード



会場入口での検温の様子



前後左右の間隔をあげたスタート



3人チームでゴールをめざすリレー競技

